

令和5年度 運営に関する計画



大阪市立梅南中学校
令和5年4月

目 次

1. 令和5年度 学校経営計画

1. 学校経営計画	P.	2
-----------	----	---

2. 様式1 中期目標と年度目標

1. 学校運営の中期目標	P.	3
2. 中期目標の達成に向けた年度目標	P.	6

3. 様式2 年度目標の達成に向けた取組内容

P.	9
----	---

【安心・安全な教育の推進】

1. 基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現
2. 基本的な方向2 豊かな心の育成

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

3. 基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上
4. 基本的な方向5 健やかな体の育成

【学びを支える教育環境の充実】

5. 基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
6. 基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり
7. 基本的な方向8 生涯学習の支援
8. 基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進

【その他】

大阪市立梅南中学校運営方針

校訓 自主 協力

キャッチフレーズ

「良い生活習慣」と「良い学習習慣」をつけよう

めざす学校像 [中期的な学校経営ビジョン]

根っこのある生徒に育てる学校

～地域・母校に誇りと愛着をもちながら成長する人を育てます～

※「根っこ」＝自分の生まれ育った地域や母校を愛し、誇りをもつことで、自分が自分であることを肯定的に認識し、自分を一個の人格として確立させること。

めざす子ども像

自ら学び進路を切り拓く子ども
自ら進んであいさつする子ども
自ら律することのできる子ども

今年度の重点目標

「令和5年度『学校運営の指針』等について」（令和5年3月10日付教委校（中）第225号）の「令和5年度『学校運営の指針』」で示された「3つの『最重要目標』」は、(1) 安全・安心な教育の推進
(2) 未来を切り拓く学力・体力の向上
(3) 学びを支える教育環境の充実 である。

そこで、今年度の梅南中学校の重点目標を

「学力向上」と「不登校の克服」 と設定した。

以下に4つの項目を挙げると、

- ①基本的な生活習慣を確立させ、健康な身体と健全な情操を育み、安心で安全な学校づくりをめざす。
- ②主体的・対話的で深い学びを通じた、思考力・判断力・表現力の資質育成に基づいた学力・体力の向上を図る。
- ③生徒が様々な行事・委員会活動・部活動に取り組むこと、および、教職員が生徒の望ましい行動を育て支援することにより、自主的・積極的な態度を育み、自己肯定感、自尊感情を高揚させる。
- ④小中連携と地域連携を通じて、「地域の学校としての認知度」を向上させるとともに、生徒・教職員に「地域の学校としての自覚」を向上させる。
また、認知度の向上により、学校選択制で「選択される学校」をめざす。

大阪市立梅南中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

平成30年度より令和2年度までの3年間、「校長裁量拡大特例校」に選定され、学力向上に取り組んできた。「学習環境の整備（ＩＣＴ機器、図書室の整備等）」「教室環境の整備（学級文庫、加湿空気清浄器の設置等）」「学力（体力）向上（「主体的・対話的で深い学び」の研究推進、漢検、英検の実施等）」「小中一貫教育の充実（英語科の小学校専科指導、小中合同体力測定等）」等に取り組んだ3年間であった。

また、令和4年度から大阪市教育振興基本計画が新たに策定され、3つの最重要目標「安全・安心な教育の推進」「未来を切り拓く学力・体力の向上」「学びを支える教育環境の充実」のもと、本校でも様々な取組をすすめている。

[現状]

「全国学力・学習状況調査」結果より

- ・国語：R3→66（全国平均：64.6）、R4→64（全国平均：69.0）
- 数学：R3→53（全国平均：57.2）、R4→42（全国平均：51.4）
- ・「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する割合は、R3→80.5%（全国平均：76.2%）、R4→82.2%（全国平均：78.5%）
- ・「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に回答する割合は、R3→68.3%（全国平均：68.6%）、R4→57.7%（全国平均：67.3%）

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果より

- ・体力合計点 男子：R3→45.8（全国平均：41.2）、R4→49.7（全国平均：41.0）
- 女子：R3→45.7（全国平均：48.6）、R4→45.5（全国平均：47.4）

令和4年度末校内調査結果より

- ・不登校生徒の在籍比率
R3→17人（在籍比率：11.89%）、R4→28人（在籍比率：19.05%）
- ・暴力行為（対教師・生徒間）認知件数
R3→0件、R4→0件

[課題]

令和2年度で特例校としての3年間は終了したが、令和3年度および令和4年度の現状をふまえ、本校の重点目標として、生徒の「学力・体力の向上」と「不登校の克服」に全力で取り組んでいきたい。「良い習慣をつける」をキーワードとして、安心・安全をベースに、心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための様々な力を身に付けさせたい。小規模校である強みを生かしつつ、保護者、地域、校区小学校、その他関係諸機関等の連携を強化し、安全で安心できる教育のコミュニティづくりに取り組むとともに、小中一貫した9年間を見据えた教育を推進することで、義務教育修了までに社会で生き抜くために必要となる基礎的な知識や力の習得を徹底して目指したい。生徒に「よい生活習慣」と「よい学習習慣」を身に付けさせ、国際化の進展や災害の発生等に立ち向かう「生き抜く力」を備え、未来を切り拓く心豊かな生徒を育みたい。また、今年度から不登校生徒が教室へ入室するためのステップ段階としての教室（ステップアップルーム）を運用していく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

◆基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を、85%以上にする。【R3：80.5%】
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、82%以上にする。【R3：80.5%】
- 令和7年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っている」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、96%以上にする。【R3：89%】
- 毎年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を、毎年、前年度より減少させる。
- 毎年度末の校内調査において、不登校の生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。

◆基本的な方向2 豊かな心の育成

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、85%以上にする。【R3：80.5%】
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を70%以上にする。【R3：68.3%】
- 令和7年度末の生徒アンケートにおける「命や人権の尊さについて考えたことがある」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、令和3年度より向上させる。
【R3:95%】

【未来を切り拓く学力・体力の増加】

◆基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上

- 令和7年度の中学生チャレンジテストにおける標準化得点（対府平均比）を、令和3年度より3pt向上させる。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を、35%以上にする。【R3：29.3%】
- 令和7年度の大阪市英語力調査の中学校卒業段階でのCEFR A1 レベル（英検3級）相当以上の英語力を有する生徒の割合を、50%以上にする。【R3：53.8%】

◆基本的な方向5 健やかな体の育成

- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、1.01以上とする。（全国平均を1とした場合の割合）
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を、53.6%以上にする。【R3：男子42.3%、女子36.8%】
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」のそれぞれの項目について、肯定的に回答する生徒の割合の平均を88.5%以上にする。【R3：87.0%】

【学びを支える教育環境の充実】

◆基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「1,2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と回答する生徒の割合を、30%以上にする。【R3：12.2%】
- 令和7年度の生徒アンケートにおける「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習している」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、100%にする。

◆基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- 令和7年度に「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を49.7%以上にする
(基準1：時間外勤務時間が45時間を超える月0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下)

◆基本的な方向8 生涯学習の支援

- 令和7年度の生徒アンケートにおける「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、76.5%以上にする。【R1：50%】

◆基本的な方向9 家庭・地域と連携・協同した教育の推進

- 令和7年度の保護者アンケートにおける「学校は、家庭・地域との連携を密にとっている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、令和3年度より向上させる。
【R3：96%】
- 令和7年度の保護者アンケートにおける「学校は、地域のボランティアを活用するなど外部人材を活用している」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、90%以上にする。
【R3：82%】
- 令和7年度の保護者アンケートにおける「学校は、情報公開をよく行っている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、令和3年度より向上させる。【R3：96%】

【その他】

- 校区小学校と連携し、令和7年度までに小中一貫した9ヶ年の教育課程を作成する。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安心・安全な教育の推進】

全市共通目標（中学校）

- ① 年度末の校内調査において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を、80%以上にする。【R3 全国学力・学習状況調査：80.5%、R4 校内調査：78.3%】
- ② 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を、前年度より減少させる。
【R3→17人（在籍比率：11.89%）、R4→28人（在籍比率：19.05%）】
- ③ 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を向上させる。
【R3：27.3%、R4：43.8%】

学校園の年度目標

- ④ 令和5年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、80%以上にする。【R3：80.5%、R4：60.0%】
- ⑤ 令和5年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っている」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、90%以上にする。【R3：89%、R4：92%】
- ⑥ 令和5年度の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を、前年度より減少させる。【R3：0件、R4：0件】
- ⑦ 令和5年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、82%以上にする。
【R3：80.5%、R4：82.2%】
- ⑧ 令和5年度の全国学力・学習状況調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を70%以上にする。【R3：68.3%、R4：57.7%】
- ⑨ 令和5年度末の生徒アンケートにおける「命や人権の尊さについて考えたことがある」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、95%以上にする。
【R3：95%、R4：97%】

【未来を切り拓く学力・体力の増加】

全市共通目標（中学校）

- ① 年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を、45%以上にする。
【R3 全国学力・学習状況調査：29.3%、R4 校内調査：42%】
- ② 令和5年度の中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01pt以上向上させる。
【R3 1年チャレンジテスト 国語：0.91、数学：0.97
R4 2年チャレンジテスト 国語：0.92、数学：0.91
R4 1年チャレンジテスト 国語：1.0、数学：0.94】
- ③ 令和5年度の大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル（英検3級）相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を、45%以上にする。【R3：53.8%、R4：42.9%】

- ④ 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を、55%以上にする。

【R3 全国学力・学習状況調査：男子 42.3%、女子 36.8%、R4 校内調査：52%】

学校園の年度目標

- ⑤ 令和5年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、1以上（全国平均以上）とする。（全国平均を1とした場合の割合）

【R3 男子：1.11、女子：0.94 R4 男子：1.21、女子：0.96】

- ⑥ 令和5年度の全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」のそれぞれの項目について、肯定的に回答する生徒の割合の平均を85%以上にする。

【R3：朝食⇒87.8%、寝る⇒78.0%、起きる⇒95.1%、平均⇒87.0%】

R4：朝食⇒84.5%、寝る⇒68.9%、起きる⇒88.9%、平均⇒80.8%】

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（中学校）

- ① 令和5年度の全国学力・学習状況調査の「1,2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と回答する生徒の割合を、25%以上にする。【R3：12.2%、R4：20.0%】

- ② 令和5年度に、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を45%以上にする。

【R3：36.67%、R4：42.86%】

（基準1：時間外勤務時間が45時間を超える月0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下）

学校園の年度目標

- ③ 令和5年度の生徒アンケートにおける「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習している」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、90%以上にする。

【R3：なし、R4：84%】

- ④ 令和5年度の生徒アンケートにおける「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、50%以上にする。【R1：50%、R2R3：なし、R4：43%】

- ⑤ 令和5年度の保護者アンケートにおける「学校は、家庭・地域との連携を密にしている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、90%以上にする。

【R3：96%、R4：80%】

- ⑥ 令和5年度の保護者アンケートにおける「学校は、地域のボランティアを活用するなど外部人材を活用している」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、85%以上にする。【R3：82%、R4：73%】

- ⑦ 令和5年度の保護者アンケートにおける「学校は、情報公開をよく行っている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、95%以上にする。【R3：96%、R4：86%】

【その他】

- ① 校区小学校と連携した取組を前年度より増加させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立梅南中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安心・安全な教育の推進】</p> <p>全市共通目標（中学校）</p> <p>① 年度末の校内調査において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を、80%以上にする。【R3 全国学力・学習状況調査：80.5%、R4 校内調査：78.3%】</p> <p>② 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を、前年度より減少させる。【R3→17人（在籍比率：11.89%）、R4→28人（在籍比率：19.05%）】</p> <p>③ 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を向上させる。【R3：27.3%、R4：43.8%】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>④ 令和5年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、80%以上にする。【R3：80.5%、R4：60.0%】</p> <p>⑤ 令和5年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っている」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、90%以上にする。【R3：89%、R4：92%】</p> <p>⑥ 令和5年度の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を、前年度より減少させる。【R3：0件、R4：0件】</p> <p>⑦ 令和5年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、82%以上にする。【R3：80.5%、R4：82.2%】</p> <p>⑧ 令和5年度の全国学力・学習状況調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を70%以上にする。【R3：68.3%、R4：57.7%】</p> <p>⑨ 令和5年度末の生徒アンケートにおける「命や人権の尊さについて考えたことがある」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、95%以上にする。【R3：95%、R4：97%】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		上段：担当
		下段：評価
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 生活指導上の諸問題について、未然防止・早期対応・早期解決に努める。		生指
指標 教職員間の情報共有を迅速かつ確実に行い、毎月いじめアンケートを実施し、未解決事案を2つ以下にする。		
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 不登校生徒に対して、未然防止・早期対応・早期解決に努める。		生指
指標 学びサポーターやSC、専門機関等と連携しながら、毎学期不登校調査を行い、新たに不登校となる生徒の数を減らしていく。		
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 規則正しい生活習慣を身に付け、登校状況の改善・疾病予防に努める。		生指
指標 生徒会の登校状況改善取組を実施し、前年度より遅刻・欠席数を減少させる。		
取組内容④【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 日々のコミュニケーションだけでなく教育相談期間を年に2回設け、生徒の思いを共有できる環境を整える。		生指
指標 学校評価アンケートの「先生は私たちの話を聞いてくれる」に対する回答で「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を90%以上にする。		
取組内容⑤【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 服装・頭髪の指導を徹底し、日常的に不備のある生徒をゼロにする。		生指
指標 学校評価アンケートの「学校のきまり・規則を守っている」に対する回答で「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を90%以上にする。		
取組内容⑥【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 暴力行為について、未然防止・早期対応・早期解決に努める。		生指
指標 毎学期暴力行為調査を行い、ケースによっては専門機関と連携するなどし、複数回行う生徒の数を減少させていく。		
取組内容⑦ー1【基本的な方向2 豊かな心の育成】 さまざまな課題を抱える子どもへの関わり方をまなぶため、PBS研修をはじめ、教職員対象の研修を実施する。		研修
指標 教職員アンケートの「授業方法等について、検討・研修する機会がある」に対する回答で「そう思う」「だいたいそう思う」の割合を80%以上にする。		

取組内容⑦ー２【基本的な方向２ 豊かな心の育成】 様々な進路選択があることを学ばせ、これからの人生選択に希望を持たせる。	進路
指標 全学年で外部講師を招聘した、講演・講話を実施する。	
取組内容⑧【基本的な方向２ 豊かな心の育成】 自主的に学習に取り組むことができるように、進路・将来へ目標をもたせる。	進路
指標 体験入学・高校情報などを提示し、生徒が自ら進路選択ができる環境を整える。	
取組内容⑨ー１【基本的な方向２ 豊かな心の育成】 外部講師と連携を図り、講話及び授業を実施し、講話を聴く機会を設定する。	人権
指標 生徒アンケートの「命や人権の尊さについて考えたことがある。」の項目において、「そう思う。」を70%以上にする（昨年度69%）。	
取組内容⑨ー２【基本的な方向２ 豊かな心の育成】 教科書の読み物教材を使用した授業展開を中心としつつ、人権総合学習ともリンクさせ、生徒の道徳的意識の向上を図る。	道徳
指標 道徳の授業をローテーションで実施し、教員一人ひとりの指導力を向上させる。 また、生徒の学習状況や成長を多面的・多角的に把握して適切に評価する。	
取組内容⑨ー３【基本的な方向２ 豊かな心の育成】 多文化共生教育を推進し、外部講師の講話を聴く機会を持たせ、文化祭などの発表会を実施する。	多文化
指標 外部講師と連携を図り、各学年１回は講話及び授業を行う。	
取組内容⑨ー４【基本的な方向２ 豊かな心の育成】 学年ごとに講話や教材を用いた学習を行い、特別支援学級在籍生徒と通常学級生徒とが、互いのちがいを認め合い支えあう、あたたかい学年・学級集団の育成を図る。	特支
指標 様々な外部機関と連携し、各学年で講話や体験を通して互いのちがいを知る機会を設ける。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度（今後）への改善点	

大阪市立梅南中学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の増加】</p> <p>全市共通目標 (中学校)</p> <p>① 年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を、45%以上にする。 【R3 全国学力・学習状況調査 : 29.3%、R4 校内調査 : 42%】</p> <p>② 令和 5 年度の中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01pt 以上向上させる。 【R3 1 年チャレンジテスト 国語 : 0.91、数学 : 0.97 R4 2 年チャレンジテスト 国語 : 0.92、数学 : 0.91 R4 1 年チャレンジテスト 国語 : 1.0、数学 : 0.94】</p> <p>③ 令和 5 年度の大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル (英検 3 級) 相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合 (4 技能) を、45%以上にする。 【R3 : 53.8%、R4:42.9%】</p> <p>④ 年度末の校内調査における「運動 (体を動かす遊びを含む) やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を、55%以上にする。 【R3 全国学力・学習状況調査 : 男子 42.3%、女子 36.8%、R4 校内調査 : 52%】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>⑤ 令和 5 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、1 以上 (全国平均以上) とする。 (全国平均を 1 とした場合の割合) 【R3 男子 : 1.11、女子 : 0.94 R4 男子 : 1.21、女子 : 0.96】</p> <p>⑥ 令和 5 年度の全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」のそれぞれの項目について、肯定的に回答する生徒の割合の平均を 85%以上にする。 【R3 : 朝食⇒87.8%、寝る⇒78.0%、起きる⇒95.1%、平均⇒87.0% R4 : 朝食⇒84.5%、寝る⇒68.9%、起きる⇒88.9%、平均⇒80.8%】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		上段：担当 下段：評価
取組内容①－１【基本的な方向４ 誰一人取り残さない学力の増加】 不登校・遅刻の傾向と学力の相関関係を分析し、各領域に即した目標設定を促すとともに、教科研究授業を充実させ授業改善に取り組む。	学力 向上	
指標 経年比較での２、３年生遅刻・不登校を昨年度より減らすとともに、チャレンジテストでの経年学力を各学年上昇させる。		
取組内容①－２【基本的な方向４ 誰一人取り残さない学力の増加】 双方向オンライン学習を行い、個別学習において生じる様々な生徒のニーズに対応できるようにし、学力向上に繋げる。	ICT	
指標 双方向オンライン学習を行う。資料のファイル共有や家庭学習における課題の配信・提出を各教科で行う。		
取組内容②－１【基本的な方向４ 誰一人取り残さない学力の増加】 各学年の生徒に応じたチャレンジテスト対策プリントを各学年で作成し、適切な時期に取り組み得点力の向上を図る。	国語	
指標 取り組み内容を実施し、以下の目標を達成する。 １年生：小学校経年学力調査より、梅南中学校の対市比を増加させる。 ２年生：１年次チャレンジテストより、梅南中学校の対府比を増加させる。 ３年生：２年次チャレンジテストより、梅南中学校の対府比を増加させる。		
取組内容②－２【基本的な方向４ 誰一人取り残さない学力の増加】 各学年の課題に応じた授業形態を実施し、定期テストとは別に到達度テストを実施し、学力の定着を促す。	社会	
指標 １年生：小学校経年学力調査より、梅南中学校の対市比を増加させる。 ２年生：１年次チャレンジテストより、梅南中学校の対府比を増加させる。 ３年生：２年次チャレンジテストより、梅南中学校の対府比を増加させる。		
取組内容②－３【基本的な方向４ 誰一人取り残さない学力の増加】 各学年の状況に応じて、チャレンジテストの過去問や対策プリントに取り組む機会を設ける。	数学	

<p>指標</p> <p>1 年生：小学校経年学力調査より、梅南中学校の対市比を増加させる。</p> <p>2 年生：1 年次チャレンジテストより、梅南中学校の対府比を増加させる。</p> <p>3 年生：2 年次チャレンジテストより、梅南中学校の対府比を増加させる。</p>	
<p>取組内容②－4【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】</p> <p>1 年生：単元末小テストを定期的実施し、学力の定着を促す。</p> <p>2 年生：反復学習を行い、学力の定着を促す。</p> <p>3 年生：単元末小テストを定期的実施し、学力の定着を促す。</p>	理科
<p>指標</p> <p>1 年生：小学校経年学力調査より、梅南中学校の対市比を増加させる。</p> <p>2 年生：1 年次チャレンジテストより、梅南中学校の対府比を増加させる。</p> <p>3 年生：2 年次チャレンジテストより、梅南中学校の対府比を増加させる。</p>	
<p>取組内容②－5【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】</p> <p>C-NET を活用した授業を各学年で年間 12 回以上実施し、ネイティブスピーカーとコミュニケーションを図る機会を増やす。また、基礎基本を定着させるために年間 10 回以上の小テストを実施し、スモールステップでの学力向上を目指す。</p>	英語
<p>指標</p> <p>1 年生：小学校経年学力調査より、梅南中学校の対市比を増加させる。</p> <p>2 年生：1 年次チャレンジテストより、梅南中学校の対府比を増加させる。</p> <p>3 年生：2 年次チャレンジテストより、梅南中学校の対府比を増加させる。</p>	
<p>取組内容②－6【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】</p> <p>1. 朝学習の時間で読書に取り組むことで、あらゆる教科に必要な読解力や語彙力、物事に取り組む集中力の向上を図る。</p> <p>2. 怠惰による遅刻や欠席、授業中の居眠りや私語をなくし、学習に対する真摯な姿勢を育む。</p> <p>3. 家庭学習用の課題を与え、自主的に学習に取り組む習慣を定着させる。</p>	1 年
<p>指標</p> <p>1 年生：小学校経年学力調査より、梅南中学校の対市比を増加させる。</p>	
<p>取組内容②－7【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】</p> <p>1. 朝学習を実施し、基礎学力の向上および自主学習の習慣を身に付けさせる。</p> <p>2. 人間関係を見直し互いにいい影響を与えるようにする。</p> <p>3. 生活習慣を改善し調査前以外の期間も定期的に勉強することを身に付けさせる。</p>	2 年
<p>指標</p> <p>1 年次のチャレンジテストより、梅南中学校の対府比を増加させる。</p>	
<p>取組内容②－8【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】</p> <p>1. 朝学習を実施し、基礎学力の定着を図る。</p> <p>2. 生活習慣を改善させる。(遅刻数の減少)</p> <p>3. 学習習慣を定着させる。(家庭学習時間の増加)</p>	3 年

指標 3年生：2年次チャレンジテストより、梅南中学校の対府比を増加させる。	
取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】 授業の帯活動等で英検の練習問題に取り組ませる。また、2次試験対策の参考書等を貸し出し、面接試験の練習を放課後等にC-NETにも協力してもらいながら実施する。	英語
指標 令和5年度の大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル（英検3級）相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を、45%以上にする。	
取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】 保健体育の授業において仲間とコミュニケーションをとる時間を確保し、運動に親しむ態度を育成する。	保体
指標 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を男女とも昨年度より向上させる。	
取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】 体育授業での運動量、時間を確保する。	保体
指標 集団行動や指示の簡潔化を徹底することで、50分の授業の内、40分以上を運動時間に費やせるようにする。	
取組内容⑥－1【基本的な方向5 健やかな体の育成】 「食」や「健康面」についての情報を発信し、健康の保持増進を図る。	健教
指標 「食育つうしん」や「ほけんだより」を年に6回以上発行し、学級での保健指導、家庭啓発を継続する。	
取組内容⑥－2【基本的な方向5 健やかな体の育成】 部活動加入率の増加と退部率の減少を図る。	生指
指標 部活動や地域のスポーツクラブへの入部率を70%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度（今後）への改善点	

大阪市立梅南中学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標（中学校）</p> <p>① 令和 5 年度の全国学力・学習状況調査の「1, 2 年生のときに受けた授業で、コンピュータなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と回答する生徒の割合を、25%以上にする。【R3：12.2%、R4：20.0%】</p> <p>② 令和 5 年度に、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を 45%以上にする。 【R3：36.67%、R4：42.86%】 （基準 1：時間外勤務時間が 45 時間を超える月 0、かつ、1 年間の時間外勤務時間が 360 時間以下）</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>③ 令和 5 年度の生徒アンケートにおける「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習している」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、90%以上にする。【R3：なし、R4：84%】</p> <p>④ 令和 5 年度の生徒アンケートにおける「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、50%以上にする。【R1：50%、R2R3：なし、R4：43%】</p> <p>⑤ 令和 5 年度の保護者アンケートにおける「学校は、家庭・地域との連携を密にしている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、90%以上にする。 【R3：96%、R4：80%】</p> <p>⑥ 令和 5 年度の保護者アンケートにおける「学校は、地域のボランティアを活用するなど外部人材を活用している」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、85%以上にする。【R3：82%、R4：73%】</p> <p>⑦ 令和 5 年度の保護者アンケートにおける「学校は、情報公開をよく行っている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、95%以上にする。 【R3：96%、R4：86%】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		上段:担当
		下段:評価
取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）】 普通教室及び一部特別教室に配備されたプロジェクター、マグネットスクリーンやタブレット等を使用した、一斉授業及びグループ学習、個別学習において生じる様々な生徒のニーズに対応できるようにし、学力向上に繋げる。		ICT
指標 授業中の活用をはじめ、朝の時間、放課後学習会など、さまざまな時間での運用を行う。		
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ゆとりの日を設定や学校組織の見直し、仕事の割り振りを行い、時間外勤務に対する教職員の意識を向上させる。		教頭
指標 時間外勤務時間上限基準の達成率を前年度より向上させる。		
取組内容③【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）】 授業内での学習者用端末の活用を促進し、ICT機器を扱う技術力と効果的な学習方法を獲得させる。		ICT
指標 ICT機器を用いた授業展開を増加させる。		
取組内容④【基本的な方向8 生涯学習の支援】 学校の施設を開放し、読書ができる環境を整備する。		元気UP
指標 学校元気アップ地域本部事業の地域コーディネーターと学校司書を中心に、昼休みの図書室開放、中学生に勧めたい図書の紹介等を実施する。		
取組内容⑤【基本的な方向9 家庭・地域と連携・協働した教育の推進】 関係諸団体と連携し、地域と生徒、保護者、教職員の関係を深め、地域で子どもを育てる環境を整える。		生指
指標 保護司会学習会、PTA活動、地域一体型防災訓練等、地域と連携する取組を月に1回以上行うか、諸事情により実施が困難な場合は諸団体に情報を発信する。		
取組内容⑥【基本的な方向9 家庭・地域と連携・協働した教育の推進】 学校の施設を開放し、学力向上に取組み、地域コミュニティの場を提供する。		元気UP
指標 学校元気アップ地域本部事業の地域コーディネーターを中心に、サタデイワーク、各種講座などを実施運営する。		
取組内容⑦【基本的な方向9 家庭・地域と連携・協働した教育の推進】 学校で行われている様々な活動を発信する。		HP 担当

指標	
週に1回以上のHP更新をし、学校行事や教育活動の様子を公表する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度（今後）への改善点	

(様式2)

大阪市立梅南中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【その他】 ① 校区小学校と連携した取組を前年度より増加させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	上段：担当 下段：評価
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 校区小学校（まっば小学校）と連携し、年間を見通した小中連携事業を行う。	小中
指標 昨年度同様の年6回の小中連携事業（50m 合同計測会、体育大会合同種目、部活動体験、職場体験、国際クラブ交流会、ピアサポート体験）を実施するとともに、小中交流ルームの効果的活用と、さらなる小中連携の形を模索する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度（今後）への改善点	